

2021年度

あいちの市町村民経済計算
(概要編)

2024年3月15日

愛知県 県民文化局 県民生活部 統計課

この資料の内容は県統計課Webページで御覧になれます。

アドレス <https://www.pref.aichi.jp/site/aichitoukei/>

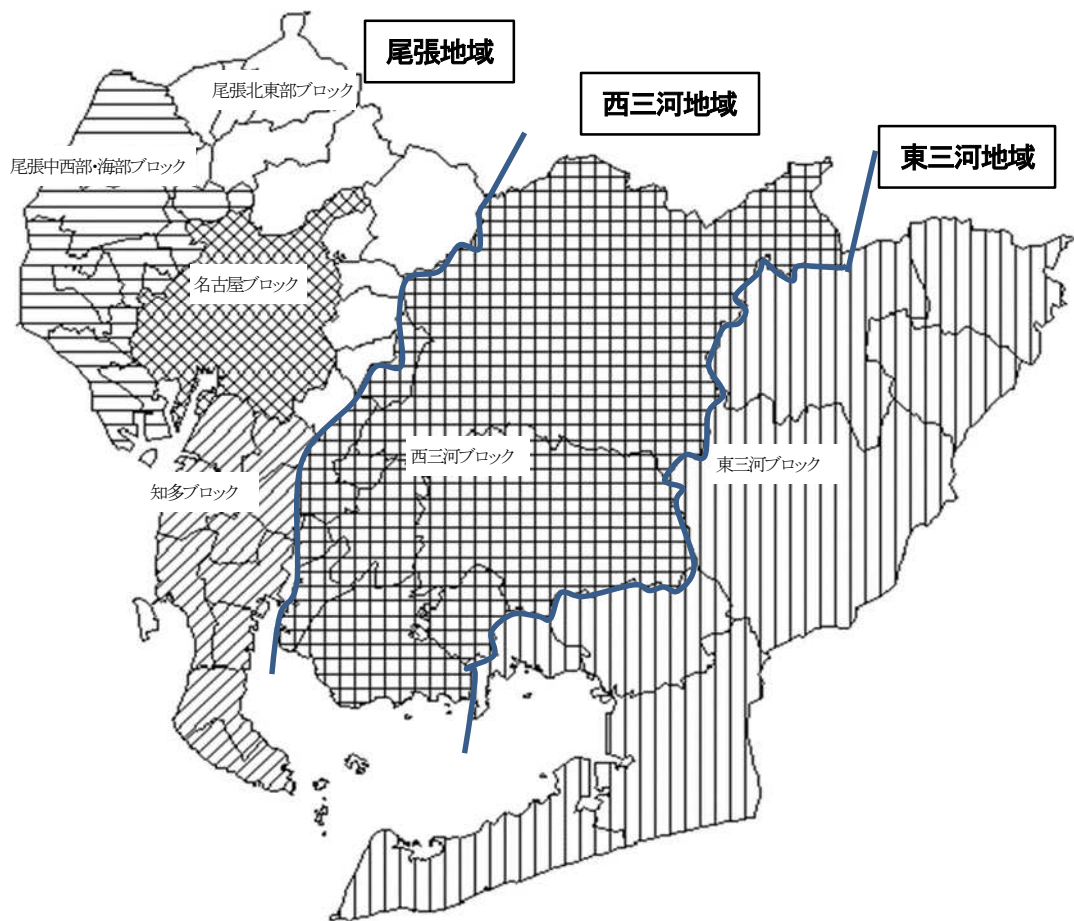
御 利 用 に あ た っ て

- 1 「2021年度 あいちの市町村民経済計算」は、内閣府経済社会総合研究所から提示された「県民経済計算標準方式」に準じて、愛知県が作成した「市町村民経済計算の推計方法」に基づき推計した結果です。
- 2 この報告書は、2021年度における愛知県内の市町村民経済計算の主要な部分を取りまとめたものです。統計表等詳細は、県統計課Webページを御覧ください。(https://www.pref.aichi.jp/site/aichitoukei/)
- 3 名古屋市については、同市が独自に推計した数値を掲載していますが、家計所得については推計を行っていないため、この報告書では掲載していません。
- 4 全市町村の合計値は、次の理由により、県民経済計算の県の数値と若干乖離があります。
 - (1) 市町村民経済計算の推計方法は、県民経済計算の推計方法と基本的な考え方は同じですが、利用する基礎資料や推計方法の一部に相違があること。
 - (2) 名古屋市については、同市が独自に推計したものであること。
- 5 この報告書は、次により記述しています。
 - (1) 県の数値は、県民経済計算による公表値であり、また、構成比は全市町村の積み上げ数値に対する割合です。
 - (2) 統計表は表示単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳が一致しない場合があります。
 - (3) 符号の用法は、次のとおりです。
 - 0 …… 単位未満
 - － …… 該当なし又は秘匿値
 - (4) 統計表の増加率は、次式により算出しています。
$$(X_1/X_0 - 1) \times (X_0 \text{の符号}) \times 100$$
 - X_1 : 当年度の計数
 - X_0 : 前年度の計数
- 6 市町村民経済計算は、毎年度、最新の統計資料の取り込みや推計方法の改善等によって、遡って改定をしています。したがって、過年度の数値を使用する場合であっても、最新年度の報告書を御利用ください。
- 7 経済成長率は、一般に実質経済成長率を利用しますが、市町村民経済計算では実質化ができないため、すべて名目値によります。
- 8 各市町村の人口は、県統計課「あいちの人口」の各年10月1日現在の数値です。人口一人当たり市町村民所得及び人口一人当たり家計所得も、この数値により算出しています。
- 9 この報告書についての照会等は、下記宛てにお願いします。

愛知県 県民文化局 県民生活部 統計課 統計分析グループ

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 電話052-954-6477 (ダイヤルイン)

地域・地域ブロック区分



尾張地域 (24市・11町・1村)

名古屋ブロック (1市)

名古屋市

尾張北東部ブロック (10市・3町)

瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、長久手市、東郷町、大口町、扶桑町

尾張中西部・海部ブロック (8市・3町・1村)

一宮市、津島市、稲沢市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、豊山町、大治町、蟹江町、飛島村

知多ブロック (5市・5町)

半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町

西三河地域 (ブロック) (9市・1町)

岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町

東三河地域 (ブロック) (5市・2町・1村)

豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村

1 本県経済の概況

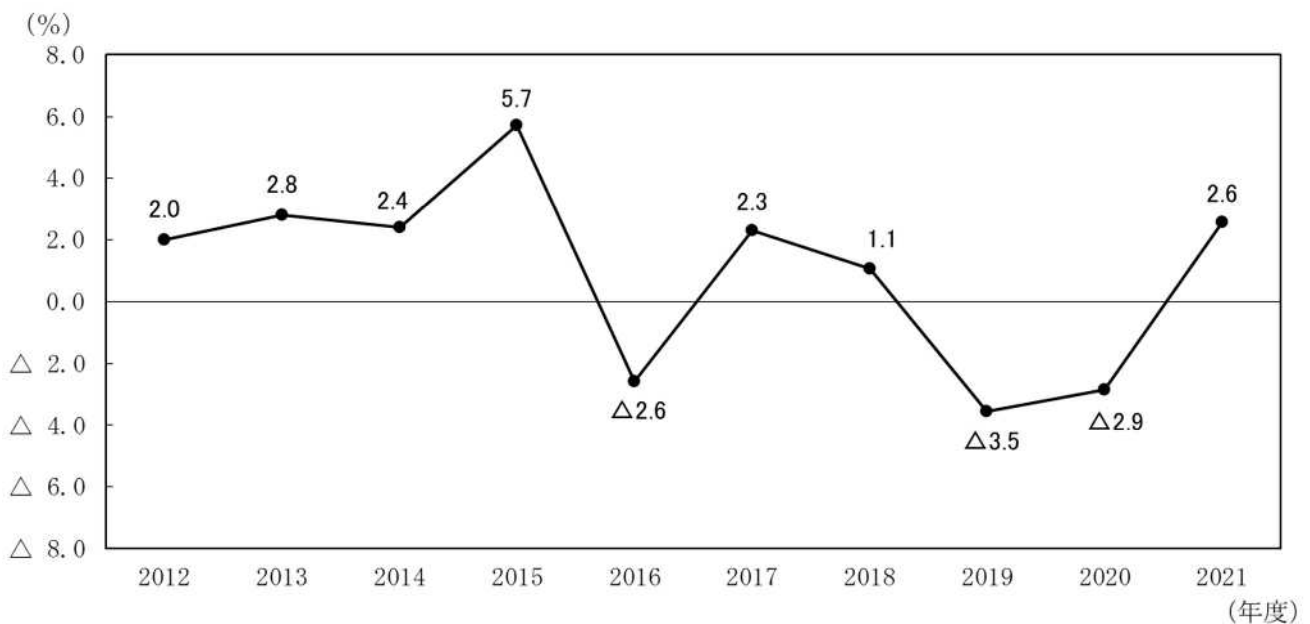
2021年度の本県経済は、緊急事態宣言等が断続的に発出される状況でしたが、ワクチン接種が進展し、経済社会活動の制限が段階的に緩和される中、持ち直しの動きが続きました。ただし、製造業では、年度当初は主力の輸送用機械の生産が持ち直しの動きを示したものの、その後は世界的なサプライチェーンの混乱による半導体部品等の供給制約の影響を受け、回復ペースは一進一退となりました。

こうした中で、経済成長率（名目）は2.6%（2020年度△2.9%）となり、3年ぶりのプラスとなりました。（図1）

生産面では、前年度大きく減少した第3次産業で、卸売・小売業等が増加に転じました。分配面では、県民雇用者報酬と企業所得がともに増加しました。

（出典：「2021年度 あいちの県民経済計算」）

図1 経済成長率（名目）の推移



2 地域経済の概況

(1) 地域別総生産

総生産は、市町村内における企業などの経済活動によって生産された財貨・サービスの総額（産出額）から原材料費など（中間投入額）を差し引いた付加価値額をいいます。

2021年度の市町村内総生産を地域別にみると、尾張地域が25兆3,472億円（構成比63.8%）と最も大きく、次いで西三河地域10兆6,876億円（同26.9%）、東三河地域3兆7,218億円（同9.4%）の順となりました。（表1）

(2) 地域別経済成長率

総生産の対前年度増加率である経済成長率を地域別にみると、尾張地域が3.9%、西三河地域が△1.9%、東三河地域が9.2%となりました。（表1）

表1 地域別総生産

（単位：億円、%）

	2020年度	2021年度		
	金額	金額	構成比	対前年度増加率
県	395,607	405,860	—	2.6
尾張地域	244,068	253,472	63.8	3.9
名古屋ブロック	133,824	139,363	35.1	4.1
尾張北東部ブロック	45,387	50,371	12.7	11.0
尾張中西部・海部ブロック	33,695	34,900	8.8	3.6
知多ブロック	31,161	28,838	7.3	△7.5
西三河地域	108,941	106,876	26.9	△1.9
東三河地域	34,097	37,218	9.4	9.2

（注）構成比欄の数値は、各地域の合計値に対する構成比です。

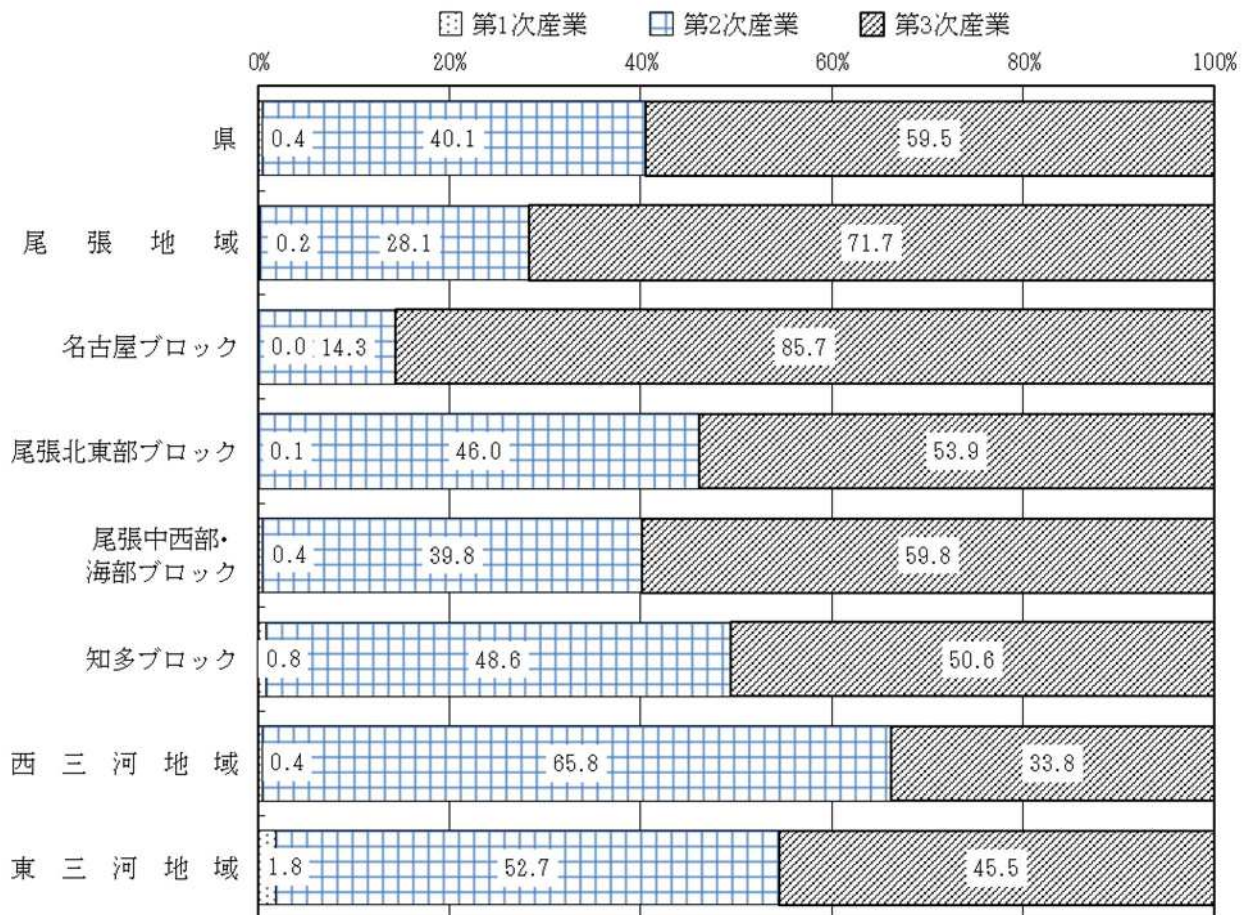
(3) 地域別産業構造

産業構造を地域別にみると、尾張地域は、卸売・小売業や不動産業などの第3次産業の総生産が大きく、その割合が71.7%を占めています。

西三河地域は、第2次産業の割合が65.8%と最も高く、特に輸送用機械関連の製造業が集積しており、県内で第2次産業の構成比が最も高い地域となっています。

東三河地域は、第2次産業が52.7%、第3次産業が45.5%と拮抗しています。また、施設園芸農業等が盛んで、第1次産業の構成比が1.8%と他地域に比べて高くなっています。(図2)

図2 地域別産業構成比



(注) 第1次産業：農林水産業
 第2次産業：鉱業、製造業、建設業
 第3次産業：電気・ガス・水道・廃棄物処理業、卸売・小売業、運輸・郵便業
 宿泊・飲食サービス業、情報通信業、金融・保険業、不動産業
 専門・科学技術、業務支援サービス業、公務、教育、保健衛生・社会事業
 その他のサービス

(4) 地域別市町村民所得

市町村民所得は、市町村に所在する企業・団体及び居住者が雇用者報酬、財産所得及び企業所得の形で受け取った所得をいい、人口一人当たり市町村民所得は、各市町村の経済水準を示す指標として用いられています。

2021年度の市町村民所得を地域別にみると、尾張地域が18兆3,468億円と最も大きく、全体の約3分の2を占め(構成比68.5%)、次いで西三河地域6兆163億円(同22.5%)、東三河地域2兆4,054億円(同9.0%)の順となりました。

また、経済水準を示す人口一人当たり市町村民所得は、西三河地域が374万2千円と最も高く、次いで尾張地域355万2千円、東三河地域323万5千円の順となりました。(表2)

表2 地域別市町村民所得

	2020年度	2021年度		一人当たり市町村民所得	
	金額(億円)	金額(億円)	構成比(%)	金額(千円)	指数
県	257,796	270,398	—	3,597	100.0
尾張地域	172,878	183,468	68.5	3,552	98.7
名古屋ブロック	86,346	91,765	34.3	3,945	109.7
尾張北東部ブロック	37,082	39,975	14.9	3,308	92.0
尾張中西部・海部ブロック	29,058	30,414	11.4	3,026	84.1
知多ブロック	20,393	21,313	8.0	3,409	94.8
西三河地域	58,660	60,163	22.5	3,742	104.0
東三河地域	22,857	24,054	9.0	3,235	89.9

(注) 構成比欄の数値は、各地域の合計値に対する構成比です。

3 市町村経済の概況

(1) 市町村内総生産

ア 経済規模

市町村内総生産を市町村別にみると、名古屋市が13兆9,363億円と最も大きく、全体の約3分の1(構成比35.1%)を占め、次いで豊田市4兆1,639億円(同10.5%)、豊橋市1兆6,454億円(同4.1%)の順となりました。(表3)

表3 市町村内総生産 上位10市町村

(単位：億円、%)

順位	2020年度		2021年度			
	市町村名	金額	市町村名	金額	構成比	対前年度増加率
1	名古屋市	133,824	名古屋市	139,363	35.1	4.1
2	豊田市	41,863	豊田市	41,639	10.5	△0.5
3	岡崎市	18,030	豊橋市	16,454	4.1	5.2
4	豊橋市	15,638	岡崎市	15,353	3.9	△14.8
5	安城市	12,927	安城市	13,944	3.5	7.9
6	小牧市	10,366	小牧市	13,385	3.4	29.1
7	春日井市	9,929	春日井市	10,493	2.6	5.7
8	刈谷市	9,865	一宮市	10,484	2.6	6.7
9	一宮市	9,827	西尾市	9,495	2.4	10.3
10	西尾市	8,606	刈谷市	8,951	2.3	△9.3

イ 総生産の増加額

総生産の前年度に対する増加額を市町村別にみると、名古屋市が5,539億円と増加額が最も大きくなり、次いで小牧市3,019億円、田原市1,957億円の順となりました。名古屋市のように、人口が多く経済規模の大きい市町村のほか、製造業が大幅に増加した市町村が上位を占めました。(表4)

表4 総生産の増加額 上位10市町村

(単位：億円)

順位	市町村名	金額	順位	市町村名	金額
1	名古屋市	5,539	6	豊橋市	816
2	小牧市	3,019	7	一宮市	657
3	田原市	1,957	8	春日井市	564
4	安城市	1,017	9	犬山市	530
5	西尾市	889	10	稲沢市	445

ウ 経済成長率

経済成長率を市町村別にみると、田原市が33.9%と最も高く、次いで小牧市29.1%、犬山市16.3%の順となり、製造業が高い伸びを示した市町村が上位の多数を占めました。プラス成長だった市町村数は、全体の約7割の36市町村でした。(表5)

表5 経済成長率 上位10市町村

(単位：%)

順位	市 町 村 名	経済成長率	順位	市 町 村 名	経済成長率
1	田 原 市	33.9	6	弥 富 市	9.2
2	小 牧 市	29.1	7	阿 久 比 町	8.8
3	犬 山 市	16.3	8	稲 沢 市	8.7
4	尾 張 旭 市	11.1	9	東 浦 町	8.1
5	西 尾 市	10.3	10	安 城 市	7.9

(2) 市町村内純生産

ア 労働生産性

市町村内純生産は、市町村内総生産から固定資本減耗等を差し引いたもので、これを当該市町村の就業人口で除することにより労働生産性を表す指標として用いられています。

就業者一人当たり市町村内純生産を市町村別にみると、田原市が1,265万1千円と最も高く、次いで知多市の907万9千円、豊田市の879万円の順となりました。(表6)

上位10市町村の産業構造をみると、県と比較して第2次産業の割合がいずれも高くなっています。(図3)

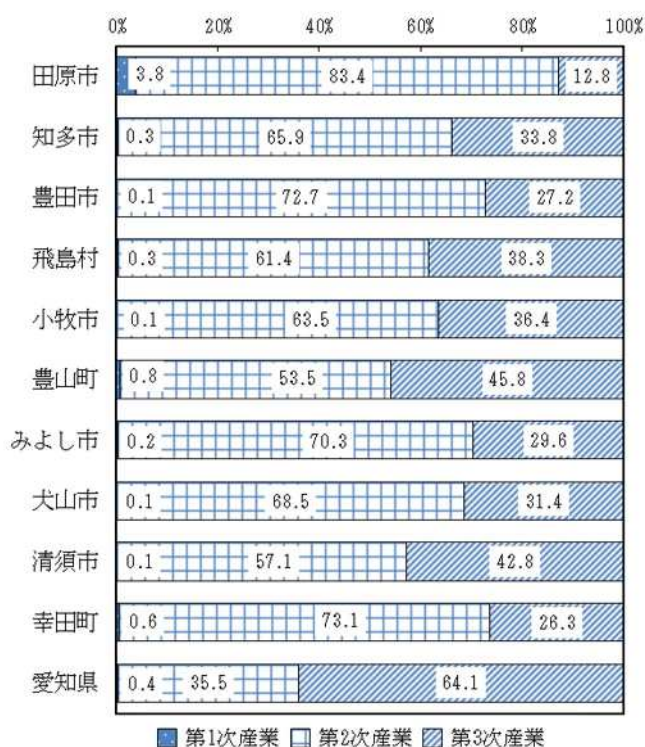
表6 労働生産性 上位10市町村
(就業者一人当たり純生産)

(単位：千円)

順位	市町村名	金額	指数
1	田原市	12,651	205.0
2	知多市	9,079	147.1
3	豊田市	8,790	142.4
4	飛島村	8,772	142.1
5	小牧市	8,241	133.5
6	豊山町	8,111	131.4
7	みよし市	8,020	130.0
8	犬山市	6,972	113.0
9	清須市	6,924	112.2
10	幸田町	6,710	108.7
	愛知県	6,171	100.0

指数は県を100とする。

図3 労働生産性上位10市町村の
産業構成比(純生産)



(3) 市町村民所得

ア 市町村民所得

市町村民所得を市町村別にみると、名古屋市が9兆1,765億円(構成比34.3%)と最も多く、次いで豊田市の1兆8,077億円(同6.8%)、岡崎市の1兆3,617億円(同5.1%)の順となりました。(表7)

表7 市町村民所得 上位10市町村

(単位：億円、%)

順位	2020年度		2021年度			
	市町村名	金額	市町村名	金額	構成比	対前年度増加率
1	名古屋市	86,346	名古屋市	91,765	34.3	6.3
2	豊田市	19,122	豊田市	18,077	6.8	△ 5.5
3	岡崎市	12,657	岡崎市	13,617	5.1	7.6
4	豊橋市	11,055	豊橋市	11,859	4.4	7.3
5	一宮市	10,557	一宮市	10,843	4.1	2.7
6	春日井市	9,201	春日井市	9,804	3.7	6.6
7	安城市	6,179	安城市	6,766	2.5	9.5
8	豊川市	5,732	刈谷市	5,918	2.2	4.2
9	刈谷市	5,681	豊川市	5,903	2.2	3.0
10	小牧市	5,057	小牧市	5,799	2.2	14.7

イ 経済水準

地域の経済水準を表す人口一人当たり市町村民所得を市町村別にみると、飛島村が737万6千円で最も高く、次いで豊田市431万2千円、みよし市426万6千円の順となり、輸送用機械関連の大規模な製造事業所が集積している市町村が上位を占めました。上位の市町村の構成比をみると、県と比べて民間法人企業所得の占める割合が高い傾向が見られます。(表8、図4)

なお、人口一人当たり県民所得(359万7千円)を100とした指数でみると、最上位は205.1、最下位は55.5となりました。

表8 人口一人当たり市町村民所得
上位10市町村

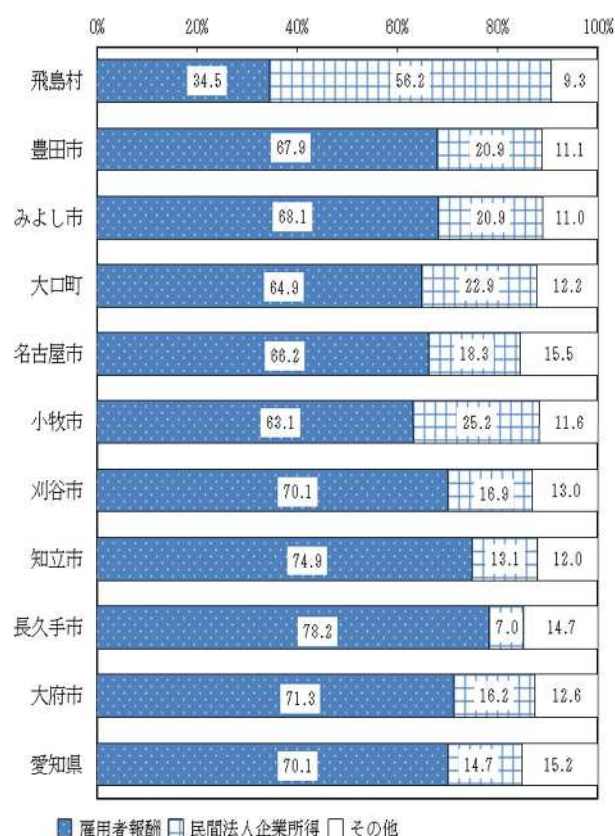
(単位：千円)

順位	市町村名	金額	指数
1	飛島村	7,376	205.1
2	豊田市	4,312	119.9
3	みよし市	4,266	118.6
4	大口町	3,965	110.2
5	名古屋市	3,945	109.7
6	小牧市	3,926	109.1
7	刈谷市	3,857	107.2
8	知立市	3,806	105.8
9	長久手市	3,796	105.5
10	大府市	3,786	105.2
	愛知県	3,597	100.0

指数は県を100とする。

(注) 人口一人当たり市町村民所得には、企業所得を含む。

図4 人口一人当たり市町村民所得
上位10市町村の分配構成比



ウ 市町村間の所得の流出入

市町村内純生産と市町村民所得との差額は、当該市町村における所得の流出又は流入の状況を表しています。

市町村内純生産の方が多い流出型の市町村は13市町村で、流出額は豊田市が6,847億円で最も大きく、次いで田原市3,429億円、小牧市3,319億円の順となっており、主に産業の集積が高く、雇用機会の多い市町村が上位を占めています。

一方、市町村民所得の方が多い流入型の市町村は41市町で、流入額は岡崎市が4,233億円と最も大きく、次いで一宮市3,507億円、春日井市2,862億円の順となっており、名古屋市近郊や産業の集積している市町村の周辺に散在しています。(表9)

表9 所得の流出入額 上位10市町村

(単位：億円)

順位	流 出 額		流 入 額	
	市 町 村 名	金 額	市 町 村 名	金 額
1	豊 田 市	6,847	岡 崎 市	4,233
2	田 原 市	3,429	一 宮 市	3,507
3	小 牧 市	3,319	春 日 井 市	2,862
4	名 古 屋 市	2,718	刈 谷 市	1,844
5	飛 島 村	715	江 南 市	1,475
6	大 口 町	572	半 田 市	1,434
7	豊 山 町	566	豊 橋 市	1,428
8	み よ し 市	352	大 府 市	1,410
9	犬 山 市	342	日 進 市	1,407
10	新 城 市	257	知 立 市	1,375

(4) 市町村民家計所得（個人企業を含む）

市町村民家計所得は、市町村内に居住する家計（個人企業を含む）が受け取る雇用者報酬、営業余剰・混合所得、財産所得のほか、社会給付などの移転所得を含んでおり、当該市町村に居住する個人が受け取った所得に近い概念となっています。

未推計である名古屋市を除く53市町村別の市町村民家計所得をみると、豊田市が1兆7,227億円と最も多く、次いで岡崎市1兆4,888億円、豊橋市1兆3,232億円の順となりました。（表10）

また、人口一人当たり市町村民家計所得は、長久手市が414万3千円で最も高く、次いで豊田市410万9千円、みよし市403万7千円の順となりました。（表11）

県民一人当たり家計所得（378万8千円）を100とした指数でみると、最上位は109.4となりました。

表10 市町村民家計所得 上位10市町村

（単位：億円、%）

順位	2020年度		2021年度		
	市町村名	金額	市町村名	金額	対前年度増加率
1	豊田市	17,283	豊田市	17,227	△ 0.3
2	岡崎市	14,852	岡崎市	14,888	0.2
3	豊橋市	13,268	豊橋市	13,232	△ 0.3
4	一宮市	13,130	一宮市	12,783	△ 2.6
5	春日井市	11,126	春日井市	10,882	△ 2.2
6	豊川市	7,009	安城市	7,045	0.6
7	安城市	7,002	豊川市	6,721	△ 4.1
8	刈谷市	5,924	刈谷市	5,951	0.4
9	小牧市	5,566	小牧市	5,401	△ 3.0
10	西尾市	5,351	西尾市	5,306	△ 0.8

（注）名古屋市を除く。

表11 人口一人当たり市町村民家計所得 上位10市町村

（単位：千円）

順位	市町村名	金額	指数	順位	市町村名	金額	指数
1	長久手市	4,143	109.4	6	刈谷市	3,878	102.4
2	豊田市	4,109	108.5	7	岡崎市	3,878	102.4
3	みよし市	4,037	106.6	8	東浦町	3,876	102.3
4	飛島村	4,033	106.5	9	尾張旭市	3,858	101.9
5	知立市	3,987	105.2	10	大府市	3,858	101.8
					愛知県	3,788	100.0

指数は県を100とする

地域別 統計表

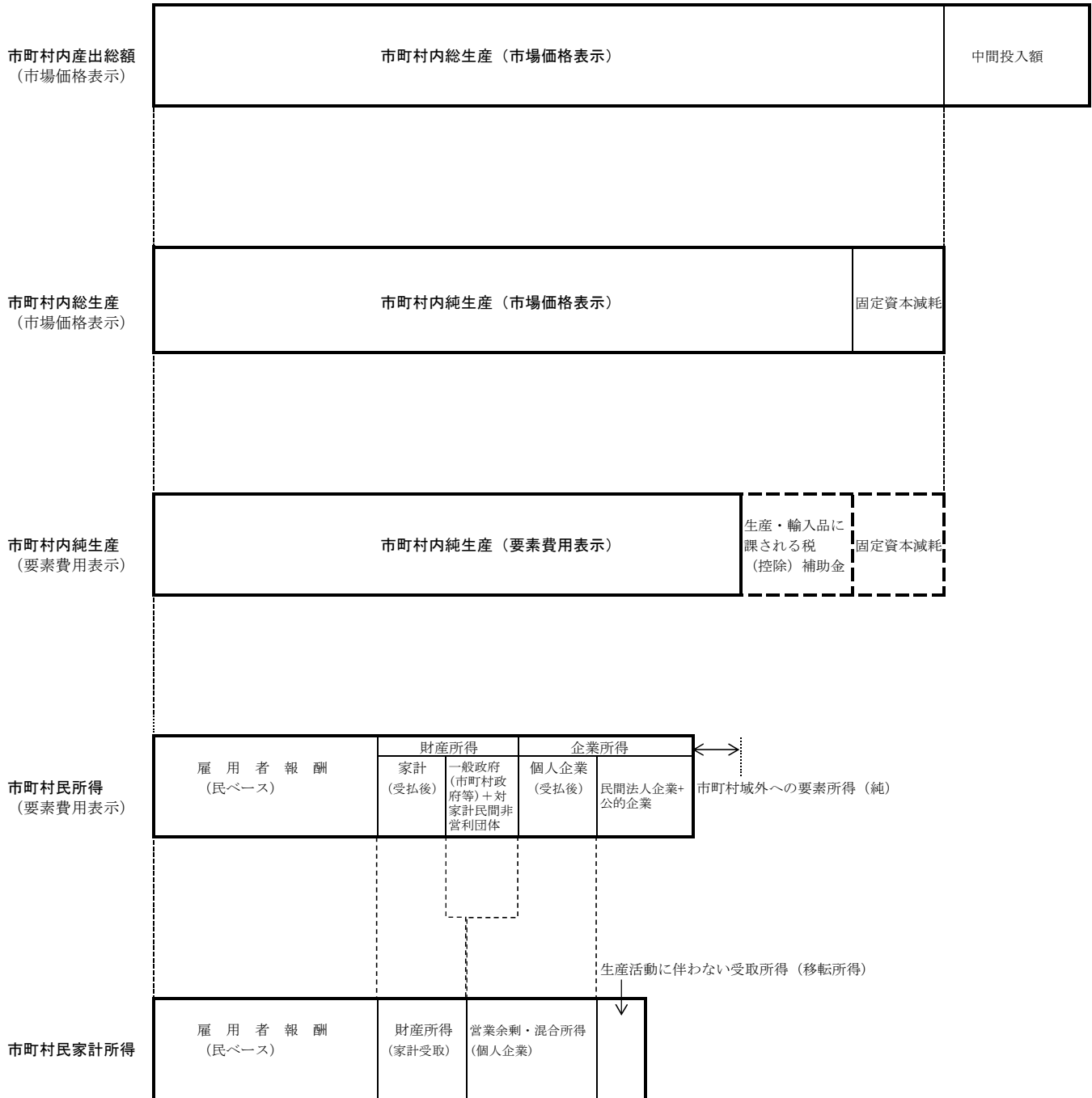
	市町村内総生産			人口一人当たり市町村民所得	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年度増加率 (%)	金額 (千円)	指数 (県=100)
尾張地域	25,347,164	63.8	3.9	3,552	98.7
名古屋ブロック（名古屋市）	13,936,286	35.1	4.1	3,945	109.7
尾張北東部ブロック	5,037,055	12.7	11.0	3,308	92.0
瀬戸市	481,264	1.2	3.5	3,147	87.5
春日井市	1,049,340	2.6	5.7	3,186	88.6
犬山市	378,351	1.0	16.3	3,046	84.7
江南市	210,476	0.5	2.2	2,852	79.3
小牧市	1,338,480	3.4	29.1	3,926	109.1
尾張旭市	264,813	0.7	11.1	3,361	93.4
岩倉市	117,624	0.3	5.9	3,006	83.6
豊明市	215,151	0.5	4.7	2,980	82.8
日進市	250,171	0.6	0.9	3,343	92.9
長久手市	248,849	0.6	4.7	3,796	105.5
東郷町	139,185	0.4	△ 4.6	3,410	94.8
大口町	261,665	0.7	6.9	3,965	110.2
扶桑町	81,686	0.2	△ 0.1	3,598	100.0
尾張中西部・海部ブロック	3,490,032	8.8	3.6	3,026	84.1
一宮市	1,048,416	2.6	6.7	2,866	79.7
津島市	194,946	0.5	2.2	2,911	80.9
稲沢市	555,964	1.4	8.7	3,052	84.8
愛西市	140,160	0.4	5.1	2,824	78.5
清須市	310,080	0.8	△ 0.0	3,594	99.9
北名古屋市	289,489	0.7	△ 1.6	3,046	84.7
弥富市	207,639	0.5	9.2	3,301	91.8
あま市	237,076	0.6	3.6	2,997	83.3
豊山町	161,424	0.4	△ 9.6	3,751	104.3
大治町	69,923	0.2	△ 4.0	2,561	71.2
蟹江町	120,162	0.3	5.4	3,317	92.2
飛島村	154,753	0.4	△ 5.0	7,376	205.1
知多ブロック	2,883,791	7.3	△ 7.5	3,409	94.8
半田市	591,880	1.5	△ 8.2	3,685	102.4
常滑市	230,744	0.6	△ 4.9	3,091	85.9
東海市	702,065	1.8	△ 10.3	3,644	101.3
大府市	435,925	1.1	3.1	3,786	105.2
知多市	364,405	0.9	△ 20.6	2,993	83.2
阿久比町	105,820	0.3	8.8	2,955	82.1
東浦町	166,587	0.4	8.1	3,400	94.5
南知多町	50,165	0.1	1.6	2,686	74.7
美浜町	71,927	0.2	△ 4.9	2,710	75.3
武豊町	164,273	0.4	△ 12.4	3,409	94.8

	市町村内総生産			人口一人当たり市町村所得	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年度増加率 (%)	金額 (千円)	指数 (県=100)
西三河地域（ブロック）	10,687,593	26.9	△ 1.9	3,742	104.0
岡崎市	1,535,314	3.9	△ 14.8	3,547	98.6
碧南市	488,453	1.2	4.1	3,680	102.3
刈谷市	895,133	2.3	△ 9.3	3,857	107.2
豊田市	4,163,918	10.5	△ 0.5	4,312	119.9
安城市	1,394,446	3.5	7.9	3,611	100.4
西尾市	949,501	2.4	10.3	2,790	77.6
知立市	212,811	0.5	7.0	3,806	105.8
高浜市	208,383	0.5	△ 4.6	3,469	96.4
みよし市	489,532	1.2	△ 7.6	4,266	118.6
幸田町	350,102	0.9	0.3	3,367	93.6
東三河地域（ブロック）	3,721,842	9.4	9.2	3,235	89.9
豊橋市	1,645,418	4.1	5.2	3,209	89.2
豊川市	725,758	1.8	2.1	3,198	88.9
蒲郡市	294,139	0.7	0.6	3,304	91.9
新城市	253,977	0.6	7.2	3,059	85.0
田原市	773,626	1.9	33.9	3,673	102.1
設楽町	18,245	0.0	3.9	2,581	71.7
東栄町	7,079	0.0	1.6	1,998	55.5
豊根村	3,600	0.0	0.8	2,360	65.6

(注) 地域は、2020年11月策定の「あいちビジョン2030」の区分による。

地域ブロックは、2023年12月策定の「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略2023-2027
(愛知県人口問題対策プラン)」の区分による。

市町村民経済計算の諸概念と相互関連



(注) 市町村内純生産と市町村民所得、市町村民所得と市町村民家計所得は大小関係が逆になる場合もあります。

社会・経済トピックス

年 月	円の対米 ドルレート	事 項
2021年4月	109.13円	<ul style="list-style-type: none"> ・男子ゴルフの松山英樹選手がマスターズ制覇 メジャー大会で日本男子初。(11日) ・福島第一原発の処理水 海洋放出決定。(13日) ・2030年度に温室効果ガス46%減目標 気候変動サミットで首相表明。(22日) ・★名古屋市長選で河村たかし氏が5選。(25日)
5月	109.19円	<ul style="list-style-type: none"> ・★愛知県が中部空港沖の埋め立て承認 第2滑走路実現に向け進展。(25日)
6月	110.11円	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法改正手続きに関する改正国民投票法成立 ネット広告規制など課題。(11日)
7月	110.29円	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県熱海市で土石流 静岡県では住宅約130棟が押し流され死者27人。(3日) ・バイデン米大統領が20年にわたるアフガニスタン戦争の終結を宣言。(8日) ・G20各国で法人最低税率15%導入へ 多国籍企業の税逃れ防ぐ目的(10日) ・米大リーグの大谷翔平選手が本塁打競争出場 球宴では史上初の投打二刀流で出場し勝利投手に。(12日) ・東京オリンピックが無観客で開幕 新型コロナ緊急事態宣言下の異例づくめの祭典 日本の金メダル27個、メダル総数58個は史上最多。(23日～8月8日) ・「奄美・沖縄」がユネスコ世界自然遺産登録 固有生物の多様化を評価。(26日) ・北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産登録 定住社会の発展を示す。(27日)
8月	109.84円	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の甲子園大会が2年ぶりに開幕。(10日) ・史上最多 4,403人が出場する東京パラリンピックが無観客で開幕 日本のメダル総数は史上2番目の51個。(24日～9月5日)
9月	110.17円	<ul style="list-style-type: none"> ・行政オンライン化など推進するデジタル庁が発足。(1日) ・菅義偉首相辞意表明 新型コロナへの対応などに批判高まり求心力失墜。(3日) ・東京株式市場の日経平均株価がバブル崩壊後31年ぶりに終値最高値。(14日) ・大相撲の横綱白鵬が引退へ 歴代最多の45回優勝 通算1,187勝。(27日) ・自民党総裁に岸田文雄前政調会長 河野太郎行革担当相ら3人破る。(29日) ・新型コロナ緊急事態宣言 全国で全面解除。(30日)
10月	113.10円	<ul style="list-style-type: none"> ・岸田文雄自民党総裁を第100代首相に選出 新内閣が発足。(4日) ・真鍋淑郎氏らにノーベル物理学賞 CO2増加で温暖化を予測。(5日) ・秋篠宮家の長女眞子様が小室圭さんと結婚し記者会見。(26日) ・衆院選が投開票され自民単独で絶対安定多数獲得。(31日)
11月	114.13円	<ul style="list-style-type: none"> ・米連邦準備制度理事会が月内に量的緩和の縮小開始を決定 金融政策正常化へ。(3日) ・新型コロナ感染による国内死者1年3か月ぶりにゼロ 行楽地の人出は復調の兆し。(7日) ・石炭火力発電の段階的削減で合意 国連気候変動枠組み条約締約国会議 COP26で。(13日) ・投打二刀流で活躍した大リーグエンゼルスの大谷翔平選手が MVP。(18日) ・WHO が新型コロナ新変異株をオミクロン株と命名 「懸念される変異株」に。(26日)
12月	113.87円	<ul style="list-style-type: none"> ・任期16年に及び「欧州の顔」だったドイツのメルケル首相が退任式。(2日) ・★トヨタが2030年に電気自動車の世界販売を350万台まで増やすと発表。(14日)
2022年1月	114.83円	<ul style="list-style-type: none"> ・地域的な包括的経済連携(RCEP)協定が発効 日本含む15カ国が加盟。(1日) ・★トヨタが外国メーカー初の米国首位 2021年新車販売台数233万台で。(4日) ・★元首相の海部俊樹さん死去 在任中の1991年に自衛隊初の海外派遣。(9日) ・★愛知県がジブリパークの2022年11月1日開業を発表。(27日)
2月	115.20円	<ul style="list-style-type: none"> ・芥川賞作家で元東京都知事 元衆院議員の石原慎太郎さん死去。(1日) ・北京冬季オリンピックが開幕 日本勢獲得メダル総数18個は冬季五輪で最多(4日～20日) ・ロシアがウクライナに侵攻 首都攻撃、南北から地上部隊 米欧強く非難。(24日)
3月	118.51円	<ul style="list-style-type: none"> ・北京冬季パラリンピック開幕 ロシアと同盟国のベラルーシ除外。(4日～13日) ・韓国大統領選 保守系最大野党のユン・ソンニョル前検事総長が勝利。(9日) ・18都道府県に再延長していた「まん延防止等重点措置」全面解除。(21日) ・濱口竜介監督「ドライブ・マイ・カー」に米アカデミー賞国際長編映画賞。(27日)

注1) 円の対米ドルレートは、日銀統計(東京外国為替市場のインターバンク相場スポットレート月中平均)による。

注2) ★印は、愛知県に関連深い出来事を示す。